

【議事録】令和2年度 始良市地域ケア個別会議（第3回）

1.開催日時等

開催日時	令和2年12月17日（木）18時30分～19時10分		
開催場所	始良市役所 第1～3会議室		
助言者	職種	所属名	氏名
	医師		
	歯科医師		
	薬剤師		
	理学療法士		
	作業療法士		
	言語聴覚士		
	管理栄養士		
	歯科衛生士		
	生活支援コーディネーター		
認知症支援推進員			
司会者	所属		氏名

2.検討事例概要

事例対象者情報					事例提供者		
対象者氏名	性別	年齢	認定情報	自治会	所属名	職種	氏名
	男	88	要支援1				

3.事業提供者（サービス事業所）

所属名	職種	氏名

4.会議で使用した資料一覧

- 地域ケア会議・アセスメントシート（事例紹介）
- 利用者基本情報
- 基本チェックリスト
- 興味・関心チェックシート
- 課題整理総括表
- 介護予防サービス・支援計画表
- 個別サービス計画書
- 口腔機能チェックリスト
- 薬剤情報
- その他（ ）

5.生活行為に関する課題

課題	個人因子	環境因子
69歳の頃から脳梗塞で右片麻痺の妻の介護をしているが、これからも息子さんとの思いである 自宅 で 妻の介護をしながらの生活を望まれている 。昨年低カリウム血症により入院し現在も食欲不振や下痢などの体調不良が続いている。心配性で神経質な性格であり新型コロナウイルスの感染を恐れ自宅に 閉じこもり傾向 になっている。本人の不安を和らげながら本人の気持ちを訴える場所や自宅での生活を続けていくための支援について検討していく。	国家公務員として全国を転動していたが、69歳の時に妻が脳梗塞発症し、退職。長年妻の介護を行ってきた。R1年に低カリウム血症で入院後より介護認定を受け、通所介護や配食サービスを利用して生活しているが、性格的に心配性で細かく神経質な性格から、体調への不安や妻の介護で気が抜けず、疲れてしまう。	始良市内中心部のマンション上層階が住居。1番奥の角部屋でエレベーターまで距離があり、1階に降りることが億劫なことがある。マンション内住人との付き合いもあり、ゴミ出しの手伝いや食事の差し入れ等助け合って生活している。R1年の入院時は洗濯物の入れ替えや買い物等の支援も行われている。コロナ感染防止のため外出を控えている。

6.出席者からの主なコメント

○医師（照会書類にて）

低カリウム血症については内服治療で経過観察中。現在落ち着いている。内科的な問題点は無く、年齢相応な状態である。体調不良の訴え多く支持的に対応している。精神不安がご本人の身体的症状につながっていると考えます。外出や他者との関わる機会を整え、訴えに傾聴いただき、気分転換が図れる環境づくりをこれからもお願いします。リハビリについては、運動制限は特にありません。本人の体調に応じて無理の無い範囲で実施をお願いします。

○**歯科医師** 本人88歳、妻81歳。娘が県外なので、行政の人に支えてもらって心とらいでいるのではないかと思う。チェックリストで上下義歯で、下の義歯は痛くて入っていない。上義歯は慣れやすく下義歯は皮が薄いので痛みが出て外す人が多い。**入歯は、作ってから調整して徐々に慣れて自分の歯になっていくので根気強く続ける**。入れ歯が合わずうまく咀嚼ができないと、栄養の摂取がうまくできず以前と比べ痩せてきている。口から食べることは基本中の基本だから、本人をうまく説得して、義歯調整をして欲しい。本人がプライドの高くて、気が短くて、若い時には社会的に成功していた方と想像できる。そういう方は難しいところもあるが、上手く対応して欲しい。

○**薬剤師** 来局時は飲み方などの説明もしっかり聞かれて、現在コンプライアンスは良好。今後一包化が必要となった場合に、アスバラKは湿気に弱く、一包化に適さない薬のため、処方変更等を医師へ相談する必要がある。ルネスタ（寝つきの薬）の処方が今まで数回あり、不眠時にエバミールと2種類服用することがある。エバミール錠に筋弛緩作用があり、本人もふらつきや転倒歴があるとのことなので、**トイレ等夜間覚醒時の移動には十分な注意が必要**。

○理学療法士

20年以上妻の介護をしていた方がこの1年で生活を変えようと言っても難しいので、長く時間をかけて説得する必要がある。静的、動的バランスが年齢に比べて悪い。自宅が古くて段差が多く転倒リスクがあるので、難しい方であるかもしれないので、時間をかけてやっていく。

不安神経症の人とのかかわり方で、不安な気持ちを出する場所があるということは大事。不安な気持ちになっている経緯の事に固執する

○作業療法士

ところがあるので、その考え方を変えてあげることも大事。簡単な表でいいので、**その日の体調ややったこと疲れ具合、便の様子、睡眠時の記録をチェック**することで、どんな時に体調が良いのか、少しずつ良くなってきているなどの変化が見られて体調に関する不安も軽減するのでは。妻への介助方法が負担になっていないか見直すことも一つだと思う。デイサービス利用時は痛みが軽減しているようなので、肩などの痛みが筋肉の痛みの可能性ある。普段の動作を変えることで痛みも軽くなるのではないか。

○**言語聴覚士** 芯の強い方、経過が良い。今後どうするかを考える大事な時期なのだと思う。本人が現状を続けていくためには目標が必要だと思う。

スマートフォンを利用しており経済的にも余裕がある様子。例えば、**スマートウォッチなどで日々の運動量（歩行数や歩行時間・距離等）をモニタリング**できる機能があるものを利用して、本人が達成感を感じたり**モチベーションを継続**できる関りができるともつといい方向に行くと思う。**管理栄養士** 不安が多いと食欲なくなる。瘦せてきた数値も本人の目見もある。デイサービスでは柔らかいごはんを一口大にして完食ししっかり食べて維持していく。自分の口でおいしく食べることが大事。リハビリや他者交流の中で本人が食べたいという意欲が出るよう食事を促す声掛けも継続が必要

○歯科衛生士

歯間ブラシを使用して3回/日できていることは素晴らしいので褒めてください。歯科受診で残存歯のブラッシング指導を受けるのも良い。歯間ブラシを使用しても細かいブラシだったりするので、本人に合った歯間ブラシを確認してもらおう。音波ブラシを勧める。下の歯を取って食べている。義歯が合うまでは何回も調整が必要だという説明や、「年末年始になるので、おいしいものを食べられるといいね。」など励ましの声掛けをしてほしい。

○生活支援コーディネーター

88歳だがスマートフォンや配食サービスを利用するなどご自身でも色々されているのですごい。住環境でご近所の付き合いが難しいのではと思っていたが、頼れる人が側にいるのはいい関係。そこでの助け合いが難しくなってきた時は有償ボランティアも検討する。プライドもある方なので男性だけのサロンに参加してみてもどうか。社協の自立支援事業にも申し込みをされているようなので、サロンで不安な様子などあれば、そちらに繋いでいくこともでき

○認知症支援推進員

○事例提供者の気づき、今後の方向性

CM：口腔内や食事の問題であったり、具体的なアドバイスを頂けた。ご助言のように根気強く関わらないといけないと思う。スマートフォンとスマートウォッチのペアリングの活用、チェック表の活用など本人が達成感が味わえるように可視化できるような支援ができたらと思う。

サービス事業担当：Hさんと根気強く関わり、本日のアドバイスを今後に生かしていきたい。残存歯のケアの仕方をさっそく取り入れたい。休まずに買い物に行けるという目標に向けては交通や動的バランスの問題が関わっていると思うので、確認を行ってきたい。達成感を感じられるものは本人が喜ぶと思うので、数値化できるようなものだったり、できなかったことができるということを伝えていけたら、一日でも長く自宅で妻と一緒に生活を続けていけるのではないかと思う。通所では連絡帳の代わりに日記をつけてもらっているが、本人は今拒否している。体調を書くことで、自身の体調をみていけるよう

7 抽出された行政課題

・高齢の男性が気兼ねなく参加できる地域活動の創出。